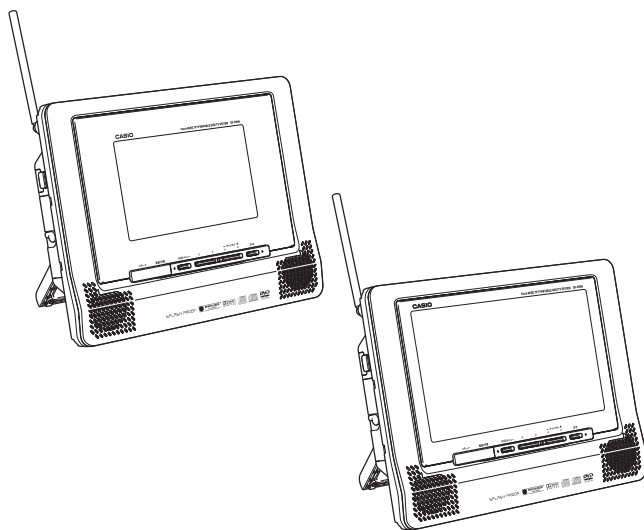
J Z

DVDプレーヤー内蔵防水カラー液晶テレビ

DV-700W/DV-900W

取扱説明書

保証書別添

この取扱説明書は、お読みになった後も大切に保管してください。

このセットは国内専用です。
All of the items in this set are designed for use exclusively in Japan.

「スペシャライザー」はデスパー・プロダクツ社とのライセンス契約に基づき製造されています。*Spatializer* ® 及びシンボル・マークは、デスパー・プロダクツ社の登録商標です。

K0088-01-03

目次

安全上のご注意

このたびは、カシオ製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。ご使用になる前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

■絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。その意味は次のようになっています。

⚠危険	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険がさし迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵表示の例

	△記号は「気をつけるべきこと」を意味しています（左の例は感電注意）。
	⃠記号は「してはいけないこと」を意味しています。この記号の中や近くの表示は、具体的な禁止内容です（左の例は分解禁止）。
	●記号は「しなければならないこと」を意味しています。この記号の中の表示は具体的な指示内容です（左の例は電源プラグをコンセントから抜く）。

⚠警告

花瓶などを上に置かない

● 本機の上に花瓶など液体の入ったものを置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

レーザー光を見つめない

● ピックアップのレーザー光を見つめないでください。視力障害の原因となります。

歩行中、運転中は使用しない

● 歩行中や、車の運転中に使用しないでください。交通事故の原因となります。

電波について

● 航空機内で使用するときは航空会社の指示に従って下さい。

航空法で、離着陸時に本機を使用することは禁止されています。指示に従わず使用すると運行装置に影響を与え事故につながるおそれがあります。

⚠警告

落とさない、ぶつけない

- 本機を落としたときなど、破損したまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。
  1. 主電源スイッチを切る。
  2. ACアダプター使用時はプラグをコンセントから抜く。
     カーアダプター使用時はシガレットライターソケットから抜く。
  3. お買い上げの販売店またはカシオテクノ修理相談窓口に連絡する。

煙、臭い、発熱などの異常について

- 煙が出ている、へんな臭いがする、発熱しているなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。
  1. 主電源スイッチを切る。
  2. ACアダプター使用時はプラグをコンセントから抜く。
     カーアダプター使用時はシガレットライターソケットから抜く。
  3. お買い上げの販売店またはカシオテクノ修理相談窓口に連絡する。

落雷について

- 雷が鳴りだしたらアンテナ線やACアダプターの差し込みプラグには触れないでください。感電の原因となります。

分解・改造しない

- 本機を分解・改造しないでください。感電・やけど・けがをする原因となります。
- 内部の点検・調整・修理はお買い上げの販売店またはカシオテクノ修理相談窓口にご依頼ください。

火中に投入しない

- 本機およびリモコンを火中に投入しないでください。破裂による火災・けがの原因となります。

水の中に入れない

- 水の中で使用すると感電の原因となります。また、水の中に落ちるおそれのある場所に置かないでください。水の中に落としたまま放置すると感電の原因となります。

水や金属が入らないように

- 水、液体、異物(金属片など)が本機内部に入ると、火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。
  1. 主電源スイッチを切る。
  2. ACアダプター使用時はプラグをコンセントから抜く。
     カーアダプター使用時はシガレットライターソケットから抜く。
  3. お買い上げの販売店またはカシオテクノ修理相談窓口に連絡する。
  - ・雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください

⚠警告

水まわりで使用するとき

● 風呂、シャワー室など水まわりでご使用の際は、必ず内蔵充電池を使用してください。ACアダプターやカーアダプターをご使用になると感電の原因となります。

● 端子カバーを確実にロックしてください。火災や感電の原因となります。

湿気の多い場所に放置しない

● 風呂やシャワー室など、湿気の多い場所には長い時間放置しないでください。火災や感電の原因となります。

外部機器の接続

● 端子カバーの開閉時に、水や雨が入らないようにしてください。火災や感電の原因となります。

内蔵充電池について

● 内蔵充電池は使いかたを誤ると液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因となります。次のことは必ずお守りください。

・ 分解しない、ショートさせない

・ 加熱しない、火の中に投入しない

電池の取り換え

● 内蔵充電池やリモコンの電池交換時に、水や雨が入らないようにしてください。火災や感電の原因となります。

● リモコンの電池フタを取り外した場合、小さなお子様があやまって飲むことがないように、幼児の手の届かないところへおいてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

ボタン電池について

● ボタン電池は使いかたを誤ると液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因となります。次のことは必ずお守りください。

・ 分解しない、ショートさせない

・ 加熱しない、火の中に投入しない

・ 極性((＋)と(－)の向き)に注意して正しく入れる

● リモコンに使用しているボタン電池を取り外した場合、小さなお子様があやまって飲むことがないように、幼児の手の届かないところへおいてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

⚠警告

ACアダプターについて

●ＡＣアダプターは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となります。次のことは必ずお守りください。

- 必ず本機付属品を使用する
- 電源は、ＡＣ１００Ｖ(50/60Hz)のコンセントを使用する
- １つのコンセントにいくつもの電気製品をつなぐ、いわゆるタコ足配線をしない
- プラグは年１回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分にほこりがたまらないように清掃する

●ＡＣアダプターは使いかたを誤ると、傷がついたり破損して、火災・感電の原因となります。次のことは必ずお守りください。

- 重いものをのせたり、加熱しない
- 加工したり、無理に曲げない
- ねじったり、引っ張ったりしない
- 電源コードやプラグが傷んだらお買い上げの販売店またはカシオテクノ修理相談窓口に連絡する

●濡れた手でＡＣアダプターに触れないでください。感電の原因となります。

●ＡＣアダプターは水のかからない状態で使用してください。水がかかると火災や感電の原因となります。

●ＡＣアダプターの上に花瓶など液体の入ったものを置かないでください。水がかかると火災や感電の原因となります。

電源について

●指定以外の電源は使わないでください。

故障や火災などの原因となります。

●電源コードをＡＣアダプター本体に巻きつけたりしないでください。傷がついたり破損して、火災・感電の原因となります。

⚠注意

置き場所について

- 本機を次のような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
  - ・湿気やほこりの多い場所
  - ・調理台のそばなど油煙や湯気が当たるような場所
  - ・じゅうたんや布団の上

不安定な場所に置かない

- ぐらついた台の上や高い棚の上など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

ACアダプターについて

- ACアダプターは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。
  - ・電源コードをストーブなどの熱器具に近づけない
  - ・プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない（必ずプラグ本体を持って抜く）
  - ・プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む
  - ・長期間使用しないときはプラグをコンセントから抜く

電源コードについて

- 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

内蔵充電池について

- 内蔵充電池は使いかたを誤ると液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。
  - ・本機で指定されている専用充電池以外は使用しない
  - ・長時間使用しないときは、主電源スイッチを切る

- 充電の際に所定時間を超えても充電が完了しない場合には、充電をやめてください。火災や、発熱・破裂によるけがの原因となります。

ボタン電池について

- ボタン電池は使いかたを誤ると液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因となります。次のことは必ずお守りください。
  - ・本機で指定されているボタン電池以外は使用しない
  - ・長時間使用しないときには、リモコンのボタン電池を取り出してください

- リモコンに使用しているボタン電池を廃棄する場合は、(+)と(−)それぞれにビニールテープなどをまいてショートしないようにしてください。廃棄は各自治体の回収方法に従ってください。

⚠注意

表示画面について

●表示画面の液晶パネルを強く押したり、強い衝撃を与えないでください。液晶パネルのガラスが割れてけがの原因となることがあります。

●液晶パネルが割れた場合、パネル内部の液体には絶対に触れないでください。皮膚の炎症の原因となることがあります。

- 万一、口に入った場合は、すぐにうがいをして医師に相談してください
- 目に入ったり、皮膚に付着した場合は、清浄な流水で最低15分以上洗浄したあと、医師に相談してください

ディスクのご使用について

●ひび割れ、変形していたり接着剤などで補修したディスクは使用しないでください。ディスクはプレーヤー内で高速回転しますので飛び散ってけがや故障の原因となることがあります。

ヘッドホンのご使用について

●ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにしてください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

ディスクドアを閉めるときについて

●ディスクドアを閉めるとき、手を入れないでください。手をはさみ、けがの原因となることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

持ち運びのとき

●本機を移動させる場合は、ACアダプターおよび接続したコードを、すべて外してください。火災・感電の原因となることがあります。

●人混みの中では、アクティブアンテナを使用しないでください。アクティブアンテナが目等に当たり、けがの原因となることがあります。

お手入れのとき

●お手入れの際はプラグをコンセントから抜いて行ってください。火災・感電の原因となることがあります。

●アンテナコード(別売品)使用時のご注意

⚠警告

●雷が鳴り出したら本機やアンテナコードには触れないでください。感電の原因となります。

●アンテナコードを、壁面のアンテナ端子や外部アンテナに直接接続しないでください。落雷により火災や感電の原因となります。

●アンテナコードを、風呂のお湯(水)の中に浸けないでください。落雷により火災や感電の原因となります。

●カーアダプター（別売品）に関するご注意

⚠警告

●本機を、前方の視界を妨げる場所やステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル等の操作を妨げる場所など運転に支障をきたす場所、同乗者に危険をおよぼす場所には置かないでください。交通事故やケガの原因となります。

●コード類は、運転操作の妨げとならないようにしてください。ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル等に巻き付くと危険です。

●本機はDC12V（－）マイナスアース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの2 4 V車では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

●必ず指定のカーアダプターを使用してください。指定以外の物を使用すると、本機内部の部品を傷めたり、故障や火災の原因となります。

●カーアダプターのコードが傷んだら（芯線の露出、断線など）交換を販売店またはカシオテクノ修理相談窓口にご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

⚠注意

●車体やねじ部分・シートレールなどの可動部に配線をはさみ込まないように注意してください。断線やショートにより、事故や火災・感電の原因となることがあります。

●助手席エアバッグ装着車でご使用になる場合は、システムの作動に影響する位置には絶対に置かないでください。

●カーアダプターの抜き差しは、イグニッションキーを「オフ」にしてから行ってください。ショートによる感電やケガの原因となることがあります。

●運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。

●車から降りるときは、必ずカーアダプターをシガレットライターソケットから抜いてください。車のバッテリーがあがることがあります。

使用上のご注意

■電源について

- 指定以外のＡＣアダプターやカーアダプターは使わないでください。指定以外のＡＣアダプターやカーアダプターを使用すると故障や火災など思わぬ事故の原因となります。
- 電源コードをACアダプター本体に巻きつけたりしないでください。傷がついたり破損して、火災・感電の原因となります。

■取り扱い上のご注意

- お手入れにはベンジンなど化学薬品は使わないでください。ケースが変質したり、塗料がはがれたりします。汚れのひどいときは柔らかな布を薄い中性洗剤に浸し、固く絞って拭いてください。
- スピーカー部分に、泥や砂が入らないように注意してください。
- 浴室用洗剤が本機にかからないようにしてください。かかった場合は速やかに洗い流してください。
- 石けんやシャンプーがついたときは洗い流してください。
- 本機およびリモコンに熱いお湯（６０℃以上）がかからないようにしてください。また、熱いお湯の中に落とした場合変形等により故障することがあります。

■極端な温度下や日差しの強い場所には放置しないでください

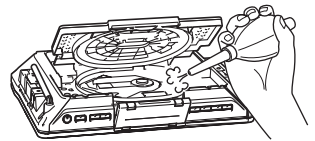
- 窓を閉めきった自動車内、直射日光の当たるところ、暖房器具の近くなどには放置しないでください。本機の変形や、液晶パネルの故障の原因となります。（保存温度範囲：－20℃～＋60℃）
- ０℃より低温、４０℃より高温になると映りが悪くなったり、正常に動作しなくなることがありますが故障ではありません。常温に戻ると回復します。（使用温度範囲：0℃ ～ 40℃）
- 低温での使用は、電池持続時間が短くなることがあります。

■結露について

- 本機を冷え切った状態のまま暖かい室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりしますと、動作部に露が生じ（結露）、本機の性能を十分に発揮できなくなることがあります。このような場合には、約1時間ほど放置するか、徐々に室温を上げてから使用してください。

■レンズのお手入れ

- レンズの汚れは、映像や音声の乱れの原因となります。市販のカメラ用ブロアーなどを使ってレンズをクリーニングしてください。市販のレンズクリーナー、ディスククリーナーは使用しないでください。

  ※ レンズには直接ふれないようにしてください。また、クリーニングの時、強い力を加えないようにしてください。

■その他の注意

- ディスクの読み込み中は操作できない場合があります。
- 他の機器と接続するときは、正しく接続してください。
- 接続を変えるときは、電源を切り、ACアダプターを取り外してください。
- 再生中に本機へ振動を与えないでください。
- 再生中は本機を移動させないでください。

■このような場所では、テレビが映りにくいことがあります。

- 放送局から遠くはなれていたり、山やビルのかげになっている場所。
- 高圧線、ネオン、無線局などが近くにあって妨害電波が多い場所。

- 移動中の電車の中や自動車の中。
- 線路、高速道路の近くや、航空路の下。

- 地下街、トンネルや、気密性の高い建物(高層ビルなど)の中。

防水についてのご注意

本機は日常生活上の防水※が施されており、雨や雪、水しぶきがかかるところでも使える防水仕様となっておりますが、次の点に十分ご注意の上ご使用ください。

※防水機能：JIS IPX6／IPX7(旧 JIS保護等級6耐水形／7防浸形)相当

(1) 故意に水の中には入れないでください。誤ってお風呂の中に落とした場合は、すぐに拾い上げてください。

(2) 多量の水をかけないでください。

(3) 水濡れ後は、乾いた清潔な布で水を拭き取ってください。

※本機内部がショートする恐れがありますので水滴が付着したまま放置しないでください。

※寒冷地では本機に水滴が付着していると、凍結することがあります。凍結したままで使用すると故障の原因になります。水滴が付着したまま放置しないでください。

(4) 水がかかる恐れがある場合は、ディスクドア、端子カバー、本機の電池フタ、リモコンの電池フタを確実に閉めてご使用ください。

(5) ディスクドア、端子カバー、本機の電池フタ、リモコンの電池フタを閉じるとき、パッキンに微細なゴミ(髪の毛や砂粒など)が挟まらないようご注意ください。

(6) ディスクドア、端子カバー、本機の電池フタ、リモコンの電池フタは、防水機能を維持するための大切な部品ですので、パッキンを取り外したり、汚れや傷がつかないようにご注意ください。

(7) 防水機能を維持するため、定期的(2年に1度)に点検(有償)することをお勧めいたします。

(8) 水まわりでご使用の場合、外部アンテナ端子のカバーは閉めてください(※アンテナコードCF-262使用時は除く)。ジャック部に水が浸入しても防水機能は維持できますが、ジャック部に水が溜まった状態で使用すると、故障の原因となる場合があります。

水の中でお使いになったり、端子カバーを開けた状態でお使いになると、水が侵入します。水の侵入による製品の不良については保証期間内でも保証対象外となりますのでご注意ください。

アナログ放送からデジタル放送への移行について

本機は地上アナログ放送終了後、テレビ放送を見ることができません。

デジタル放送への移行スケジュール

地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の地域でも２００６年末までに放送が開始される予定です。該当地域における受信可能エリアは、当初限定されていますが、順次拡大される予定です。地上アナログ放送は２０１１年7月に、BSアナログ放送は2011年までに終了することが、国の方針として決定されています。

ディスクについて

■再生できるディスク

本機は、以下のディスクが再生できます。

再生可能ディスク	フォーマット
DVD、DVD±R、DVD±RW、 CD、CD-R、CD-RW	DVDビデオ、SVCD、ビデオCD（バージョン1.1／2.0）、MPEG2 音楽CD（CD-DA）、MP3、WMA、JPEG、CD-G

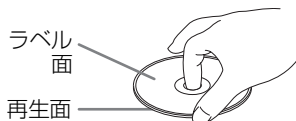
- DVDはビデオモードで記録され、ファイナライズ（ほかの機器でも再生できるようにする最終処理）した物が再生できます。
- DVD-RAM、DVDオーディオ、CDVは再生できません。
- VRモードで録画されたDVD-R,DVD±RWは再生できません。
- データの作り方や、ディスクの状態、録画／録音機器の状態によっては再生できないことがあります。
- デジタル放送などの「一回だけ録画可能」番組を記録したディスクは再生できません。

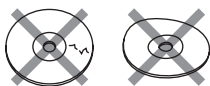
■DVDのリージョン番号について

リージョン番号とは、地域により、DVDディスクとプレーヤーに決められた番号です。
本機のリージョン番号は「2」です。リージョン番号のマークが「2」か「2」が含まれている、または「ALL」が表示されたDVDディスクが再生できます。

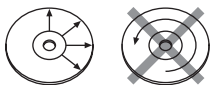
■ディスクのご注意

■ディスク取扱上のご注意

● 再生面に触れないように持ってください 。

● 再生面はもちろん、ラベル面にも紙やテープなどを貼らないでください。

■ディスク使用上のご注意

ひびやそりのあるディスクは絶対に使わないでください。

● 再生中、ディスクはプレーヤー内で高速で回転しています。ひび割れや変形したディスク、またはテープや接着剤で補修したディスクなどは危険ですから絶対に使用しないでください。

● ディスクに指紋や汚れがついたときは、やわらかい布などで、放射状に軽くふきとってください。

● 長い間使用しないときは、本機から取り出し、ケースに入れて保管してください。

■CD規格外ディスクについて

● ラベル面にCOMPACT disc DIGITAL AUDIOマークの入ったものなどJIS規格に合致したディスクをご使用ください。CD規格外ディスクを使用された場合には再生の保証は致しかねます。また再生できた場合であっても音質の保証は致しかねます。

■特殊形状のディスクについて

● ハート型や八角形など特殊形状のディスクは使用しないでください。機器の故障の原因となります。

■音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣り近所への配慮（おもいやり）を十分いたしましょう。ステレオの音量はあなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には小さい音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には特に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのもひとつの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

■ディスクの用語について

通常、DVDは全体が大きく「タイトル」で区切られ、その中が「チャプター」で小さく区切られています。

DVD			
タイトル 1	タイトル 2		タイトル N
チャプター	チャプター		チャプター
1 2 3 4 5 6 7 8 - - - n	1 2 3 4 5 6 7 8 - - - n		1 2 3 4 5 6 7 8 - - - n

また、CDやビデオCDは、その中が「トラック」で区切られています。

CD, ビデオCD			
トラック 1	トラック 2		トラック n
(1曲目)	(2曲目)		

本機は「タイトル」、「チャプター」、「トラック」を単位にして、スキップ、サーチを行います。

- 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不明な点や誤りなど、お気付きの点がございましたら、ご連絡ください。
- 本書の一部または全部を無断で複写することは禁止されています。また、個人としてご利用になるほかは、著作権法上、当社に無断では使用できませんのでご注意ください。
- 本書および本機の使用により生じた損失、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- 本書の内容に関しては、将来予告なく変更することがあります。

主な特長

- 7V型(DV-700W)/9V型(DV-900W)のワイド液晶モニターを搭載したDVDプレーヤー内蔵防水カラー液晶テレビです。
- 本体、リモコンは防水。お風呂場、プールサイドなどでもご利用できます。
  防水機能:JIS IPX6/IPX7(旧 JIS保護等級6耐水形/7防浸形) 相当
- DVDソフトのほかにも、DVD±R、DVD±RW(ビデオモードのみ)や音楽CDの再生ができます。

  ※ 本機はVRモードで録画されたDVD-R,DVD±RWの再生には対応しておりません。
- DVD音声は、ドルビーデジタルデコーダ内蔵(5.1chダウンミックス2ch)。サラウンド機能付(スペシャライザー3D回路内蔵による臨場感あふれるサラウンド効果)。
- テレビ内蔵。VHF1~12ch、UHF13~62chのオールチャンネルとCATVのC13~C38も楽しめます。

  ※ CATVはサービスの行われている地域のみ受信可能です。受信する為にはCATV会社との受信契約が必要です。詳しくはCATV会社にお問い合わせください。
- テレビ音声は、ステレオ、音声多重対応。
- 内蔵充電池、家庭用電源、カーバッテリー(別売のカーアダプター使用時)と、使う場所に合わせて選べる3電源方式。
- タイマー機能搭載。次の2通りに使えます。
  カウントダウンタイマー:設定時間経過後、アラーム音と表示でお知らせします。
  スリープタイマー:設定時間経過後、電源オフ(スタンバイ状態)になります。

初めてお使いになる方へ

● 最初に「安全上のご注意」、「使用上のご注意」、「防水についてのご注意」を必ずお読みください。本機は、これらの注意事項を理解されたうえ、正しくお使いください。

■本書の使い方

操作説明について

● 特に断りがない場合、操作はリモコンのボタンで説明しています。

本書で使われているマークについて

本体 ：本体で操作することを表します。

リモコン ：リモコンで操作することを表します。

☞ ：本書の中の別の場所を参照していただきたいことを表します。

メモ ：各種の補足情報や、操作上のヒントなどを表します。

重要 ：ご注意いただきたい内容や重要なことを表します。

■使い方の概要

● 詳しくは、該当する項目を参照してください。

1 リモコンに電池を入れ、内蔵充電池を充電してください。
家庭用電源でご使用になる場合はACアダプターを
接続してください。 .... ☞「準備」(22ページ)

2 DVDやCDなどのディスクを再生するには .... ☞「ディスクを再生する」(28ページ)

3 テレビを見るには .... ☞「テレビを見る」(38ページ)

4 タイマーやその他の機能を使うには .... ☞「便利な機能を使う」(49ページ)

5 各種の設定を変えるには .... ☞「設定メニューの使い方」(55ページ)

6 外部機器や、外部アンテナ、
カーアダプターなどを接続するには .... ☞「接続について」(62ページ)

同梱品一覧

● 取扱説明書(本書)

各部の名称

■本体

前面

[I/⏻]電源ボタン
[DVD／TV／外部]モード切換ボタン
[音量+、ー]音量ボタン

アクティブアンテナ

外部アンテナ端子

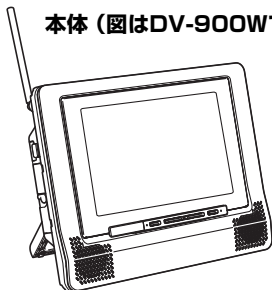
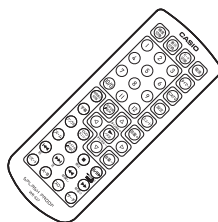
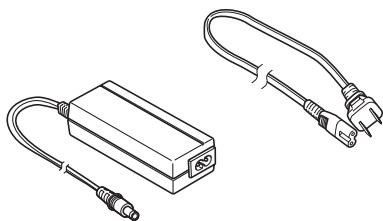
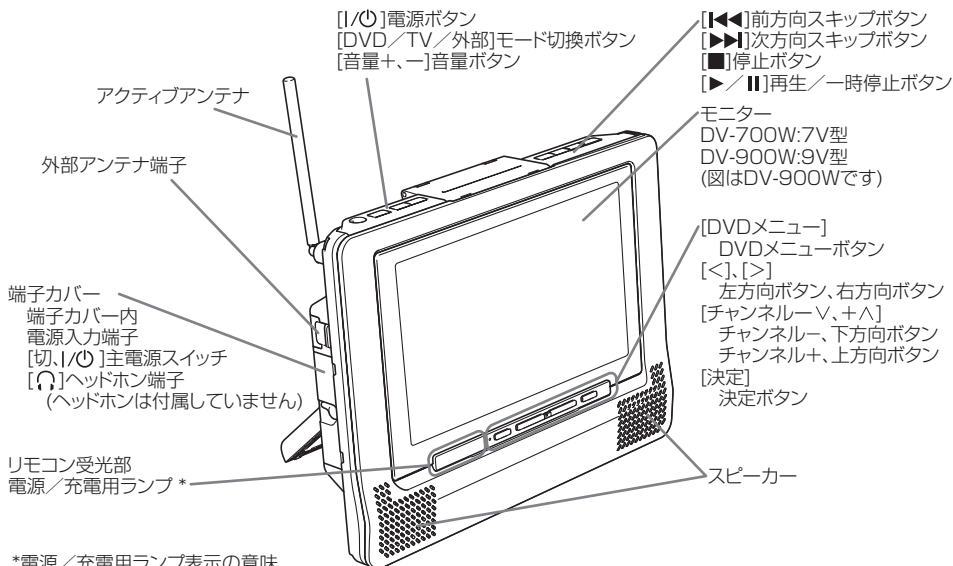
端子カバー
端子カバー内
電源入力端子
[切、I/⏻]主電源スイッチ
[🎧]ヘッドホン端子
(ヘッドホンは付属していません)

リモコン受光部
電源／充電用ランプ *

[⏮]前方向スキップボタン
[⏭]次方向スキップボタン
[■]停止ボタン
[▶／❚❚]再生／一時停止ボタン

モニター
DV-700W:7V型
DV-900W:9V型
(図はDV-900Wです)

[DVDメニュー]
DVDメニューボタン
[<]、[>]
左方向ボタン、右方向ボタン
[チャンネルー∨、+∧]
チャンネルー、下方向ボタン
チャンネル+、上方向ボタン
[決定]
決定ボタン

スピーカー

*電源／充電用ランプ表示の意味

消灯	主電源「切」およびスタンバイ時。充電完了時。
赤点灯	電源オン中です。
緑点灯	内蔵充電池を充電中です。
緑点滅	充電待機中(充電可能な温度範囲外)です。
赤点滅	内蔵充電池の故障です。

裏面

■リモコン(防水)

[輝度切換]ボタン
[表示切換]ボタン
[モード切換]ボタン

[電源]ボタン

[0]～[9]数値ボタン
[1]～[12]ダイレクト
チャンネルボタン

[タイマー]ボタン
[CATV]ボタン
[設定]ボタン
[ミュート]ボタン

[音声切換／音声]ボタン

[音量+]音量調節ボタン

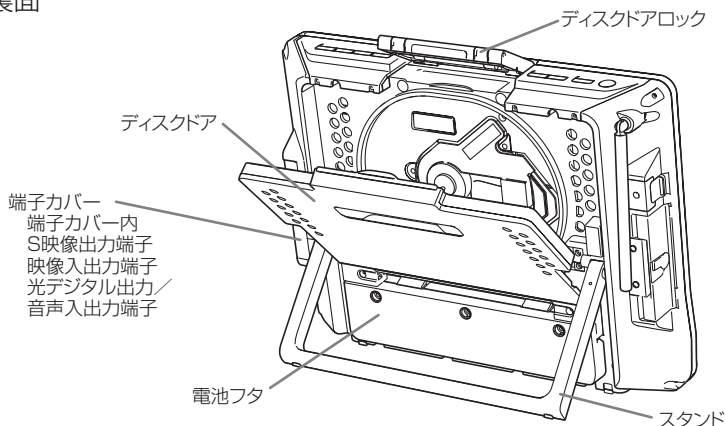
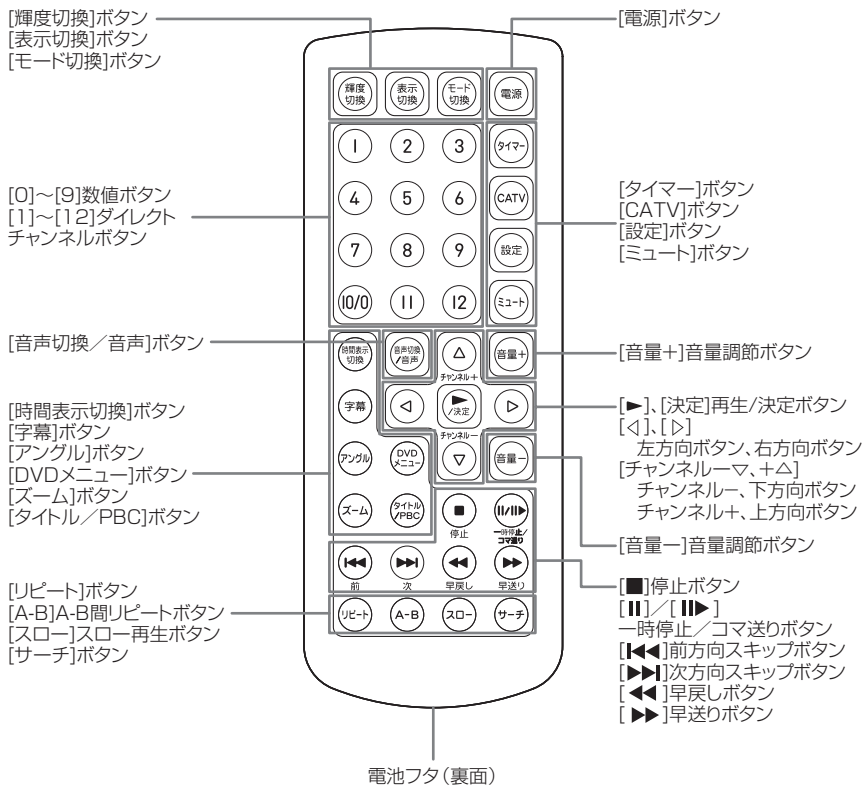
[時間表示切換]ボタン
[字幕]ボタン
[アングル]ボタン
[DVDメニュー]ボタン
[ズーム]ボタン
[タイトル／PBC]ボタン

[►]、[決定]再生/決定ボタン
[◁]、[▷]
左方向ボタン、右方向ボタン
[チャンネルー▽、+△]
チャンネルー、下方向ボタン
チャンネル+、上方向ボタン

[音量ー]音量調節ボタン

[リピート]ボタン
[A-B]A-B間リピートボタン
[スロー]スロー再生ボタン
[サーチ]ボタン

[■]停止ボタン
[II]／[II▶]
一時停止／コマ送りボタン
[|◀◀]前方向スキップボタン
[▶▶|]次方向スキップボタン
[◀◀]早戻しボタン
[▶▶]早送りボタン

電池フタ(裏面)

● リモコンは、本体前面のリモコン受光部に対して± 30 度の範囲で操作してください。

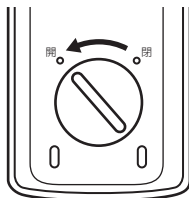
準備

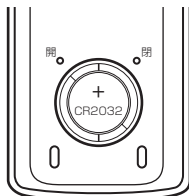
■リモコンの準備

ご使用の前に、付属のリモコン用電池を入れてください。

リモコンの電池を入れるには

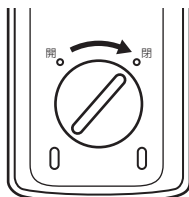
1 **コイン(硬貨)を使って、電池フタを左に回して外します。**

リモコン(背面)

2 **古い電池を取り出して、新しい電池(CR2032)を入れます。**

「＋」記号が見えるように入れる。

3 **電池フタを電池を押さえるように載せ、コイン(硬貨)を使って、電池フタを右に回して閉めます。**

重要

- 電池フタは右に止まるまで回してください。確実に閉まっていない場合には、リモコン内部に水が入り故障の原因となります。

参考

- リモコンの電池持続時間の目安は、ご使用の頻度によりますが、約 1 年です。

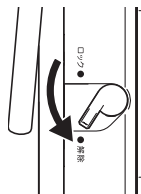
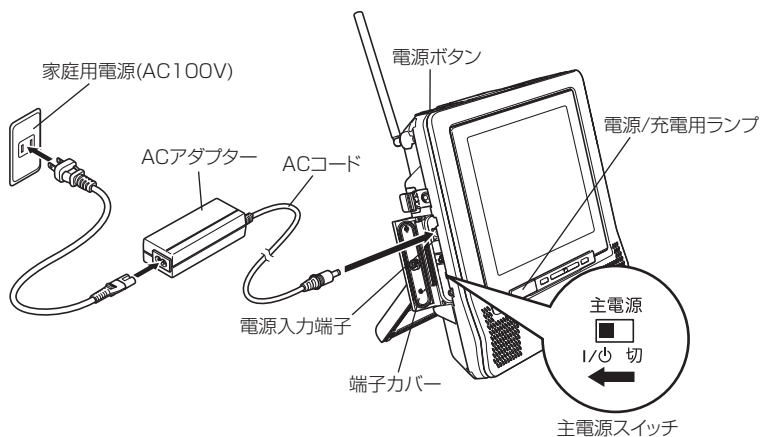
■内蔵充電池で使うには

内蔵充電池は、お買い上げまでの自然放電により、満充電状態ではありません。初めてご使用になる時には必ず充電してください。

充電時間	約5時間

- 本体の端子カバーが開いているときは防水になりません。
- 充電することができる温度範囲は、5℃～35℃です。
- 充電用ランプが赤色で点滅しているときは内蔵充電池の故障です。お買い上げの販売店、またはカシオテクノ修理相談窓口に修理を依頼してください。
- 充電中、内蔵充電池が熱を持ちますが、故障ではありません。
- 内蔵充電池の残り容量が少なくなると、モニター画面の左下に「電池残量表示」（25ページ）が表示され、赤色の点滅を始めます。また本体の動作が不安定になることがあります。この場合、内蔵充電池を充電してください。
- 内蔵充電池は、充電／放電を約300回繰り返すことができます（使用状況によって異なります）。正しく充電しても電池持続時間が著しく短い場合は内蔵充電池の寿命です。内蔵充電池の交換に関しては必ずカシオテクノ修理相談窓口にご相談ください。有償にて内蔵充電池の交換をいたします。内蔵充電池は消耗品ですので保証期間内でも保証対象外となります。
- 電源／充電用ランプが赤色で点滅しているときは内蔵充電池の故障です。お買い上げの販売店、またはカシオテクノ修理相談窓口に修理をご依頼ください。
- AC アダプターは、長時間ご使用になりますと熱を持ちますが、故障ではありません。

充電するには

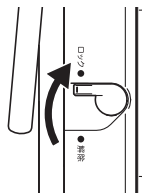
1 **左側面の端子カバーのつまみを「解除」側に回してカバーを開きます。**

2 付属のACアダプターを図の様に接続します。

3 主電源スイッチを I/⏻ 側にします。

● 本機使用中は充電されません。充電するときは必ず電源ボタンを押してスタンバイ状態にしてください。

4 電源／充電用ランプが緑に点灯し、充電が始まります。

5 充電が終了すると、電源／充電用ランプが消灯します。

6 ACアダプターを抜きます。

7 端子カバーを押さえつけながら、つまみを「ロック」側に止まるまで回します。

電池持続時間

動作	輝度切換	DV-700W	DV-900W
DVD再生	標準	約2時間15分	約2時間
	節電	約2時間45分	約2時間30分
テレビ	標準	約3時間30分	約3時間15分
	節電	約4時間	約3時間45分

- 十分に充電し、周囲温度25℃、適切な音量で使用した場合のめやすです。大きめの音量で使用したり、低温下では短くなります。
- 電池持続時間は、内蔵充電池の初期状態での数値です。電池の特性上、充電／放電を繰り返すと電池持続時間は短くなります。
- 輝度切換はリモコンの［輝度切換］で設定してください。☞「輝度切換（節電機能）」（53ページ）

電池残量表示

内蔵充電池が消耗すると、モニター画面に電池残量の目安を表示します。

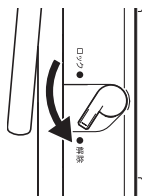
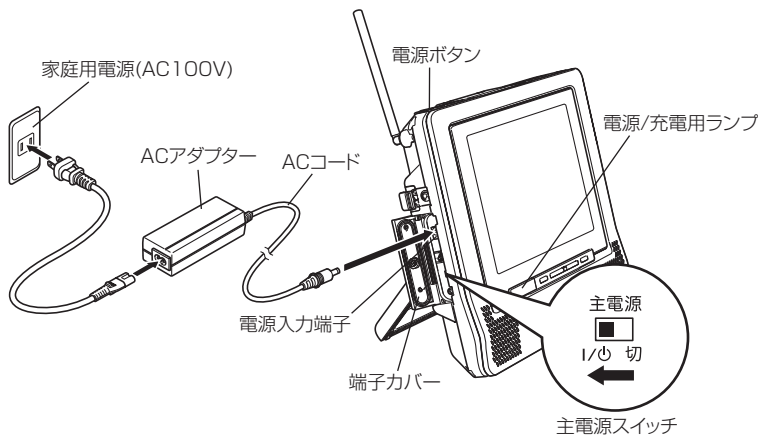
十　分	中　位	充電必要

- 電池残量表示は、動作状況や周囲温度により電池残量の目安と異なる場合があります。
- 電池残量が表示されるのは、以下の場合です。表示時間は約４秒間です。
  電源を入れたとき（AC アダプターを使用していないとき）。
  電源が入っている状態で AC アダプターを外したとき。
- 電池残量は「充電必要」な状態になると常に赤色で点滅します。AC アダプターを接続して内蔵充電池を充電してください。

■家庭用電源で使うには

本機は家庭用電源でもご使用になれます。

- 本体の端子カバーが開いているときは防水になりません。
- AC アダプターは、長時間ご使用になりますと熱を持ちますが、故障ではありません。
- 長期間ご使用にならないときは、AC アダプターを本体およびコンセントから取り外してください。

1 左側面の端子カバーのつまみを「解除」側に回してカバーを開きます。

2 付属のACアダプターを図の様に接続します。

3 主電源スイッチを I/⏻ 側にします。

■ヘッドホン(市販品)を使うには

● 本機にヘッドホンは付属していません。

ヘッドホン(市販品)を使用するときは、ヘッドホン端子に接続してください。